



ジャンボ将棋運営マニュアル

ジャンボ将棋団体戦の開催運営についての説明をいたします。

1. ルール説明

ジャンボ将棋団体戦では、通常の将棋とは異なるルールが巻末の「ジャンボ将棋団体戦ルール概要」で開催します。参加者は複数のチームに分かれて競い合います。各チームは複数のプレイヤーで構成され、各プレイヤーが一手ずつ交代で指していきます。ジャンボ将棋団体戦では、ウレタン樹脂製の柔らかくて軽いジャンボ将棋駒や盤が用いられることがあり、そのルールを事前にしっかりと理解しておく必要があります。

2. お互いに尊重し協力しあって競技を進める

ジャンボ将棋団体戦は、チームプレイが重要です。そのため、チームメンバー同士で協力し、戦略を練り上げることが求められます。また、相手チームに対しても、尊重の精神を持ち、フェアプレイを心掛けましょう。競技を進める際は、明確で建設的なコミュニケーションを取り、チーム内での意見の相違があった場合も、互いに尊重し合いながら最適な解決策を見つけ出してください。

3. やってはいけないこと説明

ジャンボ将棋団体戦では、次のような行為は厳禁です。

- 駒を投げたり、床にこすりつけたりしない
- 相手チームや審判に対する不敬な言動
- ゲームの公平性を害するような不正行為(カンニングやルール違反など)
- チームメイトに対する無礼や協力を拒む態度 これらの行為は、大会の品位を損ねるだけでなく、自身やチームにペナルティを与える原因となりますので、絶対に避けてください。

4. 対戦が終わったら、整列してお互いが向き合い御礼の挨拶をして解散する

試合終了後は、どちらのチームも整列して、相手チームに向かって挨拶を行います。これは、相手チームへの敬意を表し、競技を通じて得られた経験に感謝を示す重要な儀式です。挨拶は、相互の尊重と感謝の精神を象徴するものであり、ジャンボ将棋団体戦の美徳を体現する瞬間でもあります。

ジャンボ将棋団体戦は、ただのゲームではなく、チームワーク、尊重、フェアプレイの精神を育む絶好の機会です。ルールを守り、相手を尊重し、楽しい競技を心掛けましょう。

・ 賞品と審判

優勝や準優勝などの賞品を準備して試合を盛り上げます。また、参加者全員に参加賞を提供して、楽しい思い出づくりをします。

審判は、スムーズな進行をとなるよう競技の指導や判定を実施します。

また、審判は、参加者と観客とのコミュニケーションを考えた実況で競技を盛り上げる役割もしましょう。

ジャンボ将棋 団体戦ルール概要

1. 参加チームとトーナメント形式

- 参加チーム 4 チーム
- チーム構成 各チーム5~7名
- 形式 トーナメント方式、全3試合

2. 対局時間とルール

- 対局時間 各対局 30分
- 持ち時間 1手につき 30秒
- 相談時間 1対局につき 3分間を 2回まで又は 1分程度に短縮するかは開催時間により随時決定する
- 指示の禁止 目線やサインを使った指示は禁止
- 王手見逃し 勝利判定としては認められず、ただし審判による判定が可能(例: 飛銀の差)
- その他のルール 日本将棋連盟指導員の指示に従う

3. 賞品と審判

- 参加賞 全参加者に参加賞を提供
- 審判 指導員を審判として 2名配置 1名は実況担当(ヒント提供はなし)

4. 備考

- 実況は、基本的に参加者が相談中に静かにする必要があるため設置。
しかし、ヒントの提供は控えるように指導員には注意を促す。